



西郷つんが説明する

令和8年度

当初予算

"クン" ポイント



鹿児島県薩摩川内市



薩摩川内
スカリッツ

CONTENTS

1 当初予算額	3
2 当初予算トピックス	
(1) 子ども・子育て	4
(2) 高齢者の健康生きがいづくり	4
(3) コミュニティ・市民活動	5
(4) 産業人材確保・移住定住	5
(5) SDGs・カーボンニュートラル	6
(6) DX（まちのDX・行政DX）	6
3 薩摩川内スマイルアクション50	7
4 電源立地地域への交付金事業	8
5 使用済核燃料税活用事業	9
6 政策別の主な予算	10
(1) 【コミュニティ・都市経営】共生と多様性で輝くまち	11
(2) 【市民安全・消防】安全・安心なまち	12
(3) 【保健福祉】健やかに暮らせるまち	13
(4) 【教育】次世代につなぐ教育のまち	14
(5) 【産業・シティセールス】活力と賑わいを生み出すまち	15
(6) 【建設・水道】社会を支える快適なまち	16
7 ゼロ予算事業（主なもの）	17

一資料一

8 会計別の予算規模	18
9 歳入予算内訳（一般会計）	19
10 歳出予算の目的別内訳（一般会計）	20
市民一人当たりでは…	21
11 歳出予算の性質別内訳（一般会計）	22
予算を家計簿に例えると…	23
12 参考資料（前年度との比較）	
(1) 人件費、職員・会計年度任用職員数	24
(2) 普通建設事業費、維持補修費	24
(3) 市債残高	25
(4) 基金残高	25

1 当初予算額

一般会計

過去最大

599億1千万円

前年度比 +7億9千万円 (+1.3%)

特別会計

8会計

267億6千万円

前年度比 +7億7千万円
(+2.9%)

公営

企業会計

3会計

59億1千万円

前年度比 △3千万円
(△0.5%)

全会計総額

925億8千万円

前年度比 +15億3千万円(+1.7%)



物価高騰の影響や社会保障経費の増大で『過去最大』の
当初予算額になりました！

2 当初予算トピックス



子ども・子育て

【新規】乳児等支援給付事業（こども誰でも通園制度） 871万円（予算概要：P64）

保育所などに通っていない10歳6か月から満3歳未満の子どもが、保護者の就労用件を問わずに月10時間以上に保育所などを利用することができ、その利用料の一部を市が負担します

【新規】医療的ケア児保育支援事業 1,160万円（予算概要：P136）

医療的ケア児の受け入れを可能とするために、看護師などを配置する保育所などに対して、その配置に要する費用の一部を支援します

（継続）子どもの木育推進事業 200万円（予算概要：P90）

子どもたちへの木育を推進するため、市内の保育所などに対して、地域産材で製作した木製玩具を贈呈するとともに、木育イベントを実施します

【新規】子育て応援駐車場整備促進事業 75万円（予算概要：P21）

子育てしやすい環境づくりを進め、少子化対策と子育て支援の充実を図るために、市内民間施設における子育て応援駐車場の整備に要する費用の一部を助成します

【新規】小学校給食費無償化事業 3億926万円（予算概要：P133）

子育て世帯の経済的負担軽減を図るため、国の制度により、令和8年4月からの小学校の給食費について、全児童が無償で学校給食を利用できる制度を始めます

（継続）学校給食費補助事業 5,413万円（予算概要：P134）

幼稚園、中学校の保護者負担を増加させることなく、給食の質・量を確保し、安定的な学校給食の提供を行うために、物価高騰に伴う食材費上昇分を引き続き助成します



高齢者の健康生きがいづくり

【新規】高齢者見守り確認機器導入助成事業 500万円（予算概要：P47）

高齢者が自宅で安全・安心に生活できるように、安否を確認する見守り機器の導入にかかる費用の一部を助成し、日常の見守り負担を軽減することで、本人だけでなく見守る家族も安心できる環境づくりを支援します

（継続）介護予防元気度アップ事業 2,608万円（予算概要：P53）

いつまでも自分らしく住み慣れた地域で生活することができるよう、高齢者が介護予防に努めることを目的として、地域貢献や社会参加、健康増進活動などによって集めたポイントを、指定された協力店で利用できる事業を実施します

（継続）介護予防総合通所型事業（ミニ・デイ） 1億600万円（予算概要：P53）

住み慣れた地域で元気に暮らし続けられるよう、体操などの軽い運動や脳トレによる認知症予防、栄養や口腔ケアの講話をを行う、気軽に参加できる介護予防事業を実施します

（継続）ふれあい・いきいきサロン活動支援金（元気いきいきプロジェクト）

209万円（予算概要：P53）

高齢者などが気軽に集い、仲間づくりや健康づくりを行える交流の場「ふれあい・いきいきサロン」の立ち上げを支援し、認知力向上の活動に積極的に取り組む団体に対して活動支援金を支給します

（継続）認知症支援・サポート事業 1,828万円（予算概要：P56）

認知症になっても住み慣れた地域で健やかに暮らし続けられるよう、医師を中心とした認知症初期集中支援チームが本人や家族の自立した生活を支援します。あわせて、誰もが気軽に集い、相談や交流、介護者の息抜き、情報交換ができる認知症カフェや家族介護者の会などを通じ、日常的な支援体制を整えます

（継続）高齢者感染症予防接種事業 1億8,509万円（予算概要：P69）

感染症の重症化を防ぐため、インフルエンザや新型コロナワクチンなどの予防接種費用の一部を負担します



子どもから高齢者まで だれもが元気で笑顔の絶えない
安心して過ごせるまちづくりを目指します！

2 当初予算トピックス



コミュニティ・市民活動

《拡充》自治公民館等設置事業補助金 1,700万円（予算概要：P26）

自治公民館などの新築や増改築などに係る費用の一部助成のほか、近年の異常気象に伴う熱中症予防のため、指定避難所に指定された自治公民館のみであった空調設備設置助成を、全ての自治公民館に対象を拡充し設置費用の一部を助成します

《拡充》防犯灯設置費補助金 380万円（予算概要：P25）

安全・安心なまちづくりを推進するため、防犯灯を設置する自治会などに対し、防犯灯の設置に係る経費の一部を助成するとともに、防犯灯のLED化の推進を図るため、金額を拡充し助成します

（継続）コミュニティセンター建設事業 3億2,847万円（予算概要：P26）

長浜地区コミュニティセンターの老朽化に伴う建て替えを行うとともに、消防詰所の機能も併せ持つ複合施設として整備します

（継続）自治会・地区コミュニティ協議会活動支援事業 2億4,394万円

（予算概要：P26、P28）

地域社会の発展と住みよい地域をつくるため、自治会や地区コミュニティ協議会が、行政と緊密な連携を図りながら自主的に行う地域活動を支援するための助成金を交付します

《拡充》SANekスマイルアクションネットワーク推進事業 6万円（予算概要：P29）

市民活動団体やNPO法人、地域団体、大学、企業など多様な主体と連携し、行政の人材育成やイベント事業とも連動することで、地域活性化に向けた公益的活動を推進し、協働による地域課題の解決を通じて本市の持続的な発展につながるネットワークを形成します

【新規】さつませんだいスマイル応援隊事業 268万円（予算概要：P24）

人口減少や少子高齢化による地域活動の担い手不足に対応するため、伝統行事や郷土芸能の継承、環境・景観保全、特産物づくりなどに地域外から参加・支援する人々と地域をつなぐ体制を整え、関係人口の創出を通じて地域社会の維持と活性化を図ります



産業人材確保・移住定住

《拡充》若者就労支援事業（中高生ふるさと就職奨励金）1,510万円

市内の高校新卒者または市内出身の市外高校新卒者（市内中学校卒業者）などが、市内居住かつ市の事業所に就職後6か月以上経過した場合、10万円分のSDGsポイントをつんPayで支給します

さらに制度を拡充し、市外出身で市外高校新卒者（市外中学校卒業者）が、市内居住かつ市の事業所に就職後6か月以上経過した場合、3万円分のSDGsポイントをつんPayで支給します

（継続）奨学金返還支援補助金 3,000万円（予算概要：P103）

大学や短期大学、専門学校等を卒業した方が市内居住かつ市の事業所に就職した場合に、在学期間に貸与を受けた奨学金の返還を補助します

【新規】移住者特集Webプロモーション事業 151万円（予算概要：P101）

人口減少対策の一環として、本市への移住・定住促進を目的に、移住・地域暮らし分野で高い認知度を有する雑誌と連携したWebプロモーションを実施します

【新規】テレビ番組移住PR動画作成事業 600万円（予算概要：P101）

人口減少対策の一環として本市の魅力を広く発信するため、情報番組に出演し、暮らしや地域の魅力を紹介する移住PR動画を制作します。あわせて、制作した動画を移住イベントでも活用し、来場者に本市の魅力をわかりやすく伝えています

《拡充》移住体験事業 73万円（予算概要：P101）

都市部などから訪れた方に、本市の生活環境を体感してもらい、定住につなげることを目的に実施してきた事業について、本土地域において、民宿を活用した移住体験住宅を整備し、制度拡充して実施します

（継続）求人活動広告支援事業補助金 600万円（予算概要：P102）

市内中小企業者等の人材確保と、新卒者やUターン希望者の市内中小企業などへの就職を促進するため、中小企業等が人材確保や求人活動に要する経費の一部を補助します



市民活動がひらくコミュニティ
人材が集い定着するまちづくりを目指します！

2 当初予算トピックス



SDGs・カーボンニュートラル



【一部新規】 サーキュラー都市地域プランディング事業 3,426万円（予算概要：P25）

「サーキュラー都市・薩摩川内市」の実現に向け、資源循環をテーマとした体験型・参加型の研修プログラムの実施を通じて、自ら考えて行動する人材（キーパーソン）の育成を図るとともに、理解促進のための市民向けの工場見学イベントの開催・ビジネス創出に向けたネットワーク強化（共創機会創出）に資する支援を行い、シビックプライドの醸成を図るとともに、取組の効果を可視化することにより、事業推進の加速化も図ります

（継続） SDGsチャレンジステップアップ事業 600万円

SDGsの普及啓発、人材育成のために、SNSなどを活用した広報活動やSDGsチャレンジパートナー向けの研修会などを実施します

（継続） SDGsポイント活用事業 1,627万円

SDGs理念の浸透と地域内経済循環の創出を図るため、デジタル地域通貨プラットフォーム「つんPay」を活用し、SDGsの取組に参加された方に対し、市内飲食店などで利用可能なSDGsポイントを付与します

【新規】 粗大ごみ資源化事業 6,248万円（予算概要：P40）

リサイクル率の向上と自立的な資源循環の実現に向け、粗大ごみに含まれる木質やプラスチック等の資源化から流通までを一連で検証する実証事業を実施します

【新規】 瓢箪島圏域生ごみ等資源化実証事業 1,643万円（予算概要：P39）

生ごみを島内で循環させる仕組みづくりを目指し、生ごみの分別、収集・運搬、堆肥化までを一連で検証する実証事業を実施します

【新規】 発火性危険物仕分け事業 571万円

火災事故などの未然防止を図るため、リチウム蓄電池等とあわせて発火の危険性のある乾電池、使い捨てライター、ガスボンベなどを「発火性危険物」として分別収集を実施します



DX（まちのDX・行政DX）

【新規】 災害体験VR機器導入事業 114万円

防災教育や啓発活動の充実を図るため、高齢者や子どもを含む幅広い世代に災害時の危険性や避難行動を視覚的にわかりやすく伝える手段として、災害体験VR機器を導入します

【新規】 電子契約導入事業 157万円（予算概要：P31）

契約締結の迅速化を図るため、従来の紙の契約書への押印に代えて、電子ファイルに電子署名を付与する契約方式を導入します

（継続） 中小企業DX支援事業 750万円（予算概要：P99）

市内の中小企業における労働生産性向上に資するDXを促進するため、DXに関する機運醸成を目的としたセミナーを開催し、参加企業から経営課題やニーズを聞き取った上で、専門家によるDX化に向けた支援を実施します

（継続） 樋門・水門等情報伝達システム運用管理事業 236万円

災害時における樋門・水門などの迅速かつ的確な操作および情報共有を図るため、水門管理人との連絡体制の強化や、市民に対する対応状況の見える化を行うシステムを導入します

《拡充》 浸水探知センサ設置事業 119万円

道路浸水による災害を未然に防止し、市民の安全確保および迅速な通行規制対応を図るため、市道2箇所のアンダーパスに浸水探知センサを設置します

【新規】 災害時用備蓄管理システム導入事業 42万円（予算概要：P36）

災害時に備えた備蓄品について、数量や使用期限等を適切に管理し、迅速な物資提供を行うため、情報を一元的に把握できる災害用備蓄管理システムを導入します



資源循環都市（サーキュラー都市）を促進できるように
みんなで学び理解を深める取り組みを増やします！

3 薩摩川内スマイルアクション50

1 目的



「薩摩川内スマイルアクション50」は、地球にやさしい社会づくり（SDGs・カーボンニュートラル）や、便利で安心なデジタル社会を進める考え方をもとに、これから薩摩川内市のまちづくりの方向性を示すものです。

このアクションでは、行政だけでなく、企業や市民のみなさんと力を合わせて、

- ・ 楽しく、笑顔がつながり、人が集うまちづくり（スマイルコミュニティ）
 - ・ 人と経済が地域の中で循環するまちづくり（サーキュラー都市）
- をつくっていくことを目指します。

2 主な取り組み



社会スマイル (はぐくむ)

子育て支援、安全・安心、地域のつながり、多様性を大切にし、市民一人ひとりの暮らしに寄り添う社会スマイルを実行します。

- 18歳以下医療費窓口負担ゼロ事業
 - 子どものイベント事業
 - **遊具整備事業【ピックアップ事業①】**
 - 涼みスポット設置促進事業
 - 高齢者いきいきサロン事業
 - ダイバーシティ社会形成推進事業
 - 女性活躍推進事業
- など

環境スマイル (まもる)

自然の恵みを守りながら、循環する暮らし、次世代エネルギー、防災・減災の取組を進め、環境にやさしい環境スマイルを実行します。

- 祇答院生態系保存資料施設（資料館アクリム）改修事業
 - 地域農業活性化・農福連携支援事業
 - サーキュラー都市環境プロジェクト（ごみの減量・CO₂削減）事業
 - 次世代エネルギー産業立地事業
 - 防災・減災事業
- など

経済スマイル (つくる・めぐる)

仕事や人が集まり、地域の魅力が広がるよう、循環型の経済づくりと人材確保、港湾整備や観光・文化の力を生かした経済スマイルを実行します。

- サーキュラー都市経済プロジェクト事業
 - 国指定重要文化財保存継承事業
 - 川内港（唐浜埠頭）整備促進事業
 - **企業立地支援事業【ピックアップ事業②】**
 - 産業人材確保事業
 - 移住定住促進事業
- など

実現スマイル (つながる・まなぶ)

人と人、地域と行政がつながり、学び合いながら、デジタルや人材育成、官民連携でチーム薩摩川内として実現スマイルを実行します。

- 行政DX（窓口サービス利便性向上、オンライン申請）事業
- 地域ICT事業
- SANek（サネット）スマイルアクションネットワーク推進事業
- 市職員人材育成（接遇改善）事業 など

※ 事業の一覧については、予算概要P156～P158に掲載しています。

3 ピックアップ事業



① 遊具整備事業（社会スマイル）

子どもたちが笑顔で楽しく過ごせる環境をつくるため、年次的に遊具を整備します。

【令和8年度設置場所（5箇所）】

《屋外》樋渡川多目的運動公園

《屋内》市役所本庁舎

SSプラザせんだい

すこやかふれあいプラザ

図書館祇答院分館



薩摩川内スマイルアクション50では

『笑顔』あふれる『集いと循環』のまちづくりを目指します！

② 企業立地支援事業（経済スマイル）

近年の市民ニーズ及び企業活動の実情に応じた活用しやすい助成制度に見直します。

【令和8年度改正内容（4項目）】

- 企業立地支援補助金の要件緩和による拡充
- 商業施設立地支援補助金の要件緩和による拡充
- 魅力あるオフィスの「誘致」と「環境整備」に向けた新制度の創設
- 社宅・社員寮整備の新制度の創設

4 電源立地地域への交付金事業

1 電源立地地域対策交付金

電源地域の自治体で実施される公共用の施設の整備や地域住民の福祉など、利便性向上を推進するために、毎年度交付されている交付金で、本市は、学校教育施設や公園施設、消防施設、保健センターなどの管理運営事業や地区コミュニティ協議会活動支援事業などの事業に活用しています。

■交付額の推移

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7予定	R8予定
交付額	16.3億円	13.5億円	16.1億円	15.1億円	16.2億円	18.2億円	18.5億円

※令和6年度以降は運転期間延長加算分を含む

➤ 加算される交付金を活用した事業

川内原子力発電所1、2号機の運転期間延長に伴い、稼働後40年を超えたことから
それぞれ毎年1億円（20年間）加算交付されます。

■1号機運転延長加算分《1億円/年》20年間（R6～R25）

事業名	事業費	交付金活用額
学校給食費補助事業	5,413万円	5,000万円
給食センター施設設備整備事業 (グランドケトル購入事業)	7,821万円	5,000万円

■2号機運転延長加算分《1億円/年》20年間（R7～R26）

事業名	事業費	交付金活用額
川内港背後地北側道路整備事業	1億7,200万円	1億円



学校給食イメージ



学校給食グランドケトルイメージ



川内港背後地北側道路整備イメージ

※ 活用事業の一覧については、予算概要P14に掲載しています。

2 原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金

川内原子力発電所の運転延長に伴い、県が策定する地域振興計画に基づき国から県に対して交付される25億円のうち、**12億4,100万円**が令和7年度から交付期間内において県から本市に交付されます。（令和8年度交付予定額：1億9,500万円）

➤ 交付金を活用した令和8年度実施事業

令和8年度に交付される一部（1,800万円）と、令和7年度に未来のまち創生整備基金へ積み立てた一部（2億4,880万円）との**合計（2億6,680万円）**を以下の事業に活用します。

事業名	事業費	活用額
遊具整備事業	3,800万円	2,320万円
祁答院生態系保存資料施設改修事業	1,268万円	800万円
道路整備事業	3億450万円	2億1,760万円
中央図書館移動図書館車購入事業	3,500万円	1,800万円



原子力発電施設立地地域への国からの交付金は、子育て支援や道路整備など市民の生活に広く役立てられています！

5 使用済核燃料税活用事業

1 使用済核燃料税の活用

使用済核燃料税は、発電用原子炉から取り出した使用済核燃料を、使用済核燃料貯蔵施設または再処理施設に搬出されるまでの間、貯蔵されているものの一部について課税する**本市の独自財源で、子育て支援や市民活動、防災・減災事業など広く市民に活用されています。**

なお、**令和8年度の增收分（約2,000万円）**を活用する主な事業は次のとおりです。

事業名	事業費
【新規】放課後児童クラブ巡回アドバイザー事業	402万円
【新規】高齢者見守り機器導入費助成事業	500万円
【新規】東部エリア経済活性化事業	440万円
【新規】甑島通信学習センター設置事業	80万円
【新規】魅力あるオフィス環境づくり支援補助金	200万円
【新規】手話言語等電話通訳事業（電話リレーサービス）	12万円
《拡充》危険廃屋等解体撤去促進補助金拡充分	685万円



放課後児童クラブ巡回アドバイザーイメージ



甑島通信学習センターイメージ



電話リレーサービスイメージ



危険廃屋解体撤去イメージ

なお、これまで同様、原子力発電所の立地に伴う防災対策、市民の安全安心な生活の確保環境対策などの様々な事業を実施するための貴重な財源として活用します。

2 使用済核燃料税額の実績及び見込み

■ 1体あたり税率の推移

期間	1体あたり税率
H16～H20	23万円
H21～H25	25万円
H26～H30	25万円
R1～R5	27万円
R6～R10	29万円

■直近5年間の税額

年度	課税体数	税額
R4	1,938	5億2,326万円
R5	1,978	5億3,406万円
R6	2,076	6億 204万円
R7予定	2,137	6億1,973万円
R8予定	2,207	6億4,003万円

税額は、4月1日現在で貯蔵されている使用済核燃料の数量に税率を掛けて算出されます。



使用済核燃料税は、市民が安心して暮らしきれられる事業に活用している市独自の貴重な税です！

6 政策別の主な予算

「人が繋がり 人が輝く 安らぎと賑わいのまち 薩摩川内」を目指し、令和7年度から令和16年度までの10年間の総合的な市政運営について定めた「第3次薩摩川内市総合計画」における6つの政策別の予算を掲載します。

1 【コミュニティ・都市経営】共生と多様性で輝くまち

広聴広報を充実させるとともに、多様性のある社会を形成しながら、コミュニティの活動や市民活動の活性化に向けた支援を展開します。

2 【市民安全・消防】安全・安心なまち

住み慣れた地域で安全・安心に住み続けられるように、防災力・消防力を増強するとともに、市民・事業者・行政が連携する体制を構築します。

3 【保健福祉】健やかに暮らせるまち

全ての市民が、地域においてお互いを尊重しあいながら共生して暮らすことのできる体制づくりに取り組みます。

また、健康づくりに対する市民意識の向上のための普及・啓発を進めるとともに、健康で生き生きと安心して暮らし続けられる体制づくりに取り組みます。

さらに、子どもを安心して産み育てることのできる環境整備に取り組みます。

4 【教育】次世代につなぐ教育のまち

学校と地域が連携・協働し、全ての子どもに寄り添い、個性に応じた教育の機会において、自らの可能性を追求できる、誰一人取り残さない学校教育を実現します。

また、文化財等が地域・市民の手で守られ、次世代に継承される環境を整備します。

5 【産業・シティセールス】活力と賑わいを生み出すまち

農林水産業の生産基盤の強化と担い手の育成・確保及び六次産業化の促進により生産力の向上を図るとともに、流通力の向上のための取組を充実させます。

商工業においても、地域の強みや特性を活かした企業の振興や産業の創出に取り組みます。

また、効率的で持続可能な地域公共交通ネットワークの構築や買い物などの生活利便性の維持に取り組みます。

6 【建設・水道】社会を支える快適なまち

防災機能を高めた安心して暮らせる都市機能の整備・保全に取り組みます。

また、広域道路ネットワークを形成し、物流の効率化と新たな人の流れを創出します。

さらに、住民生活や経済活動に不可欠な上・下水道事業を安定的に運営するため、施設等の耐震化、長寿命化と効率的な維持管理に取り組みます。



次のページからは、これら6つの政策ごとに、新しく始まる事業や拡充された事業を説明します！

6 政策別の主な予算

1 コミュニティ・都市経営

共生と多様性で輝くまち

41事業 17億9,839万円

- ・コミュニティ
- ・生涯学習・市民活動
- ・男女共同参画・ダイバーシティ
- ・少子化対策
- ・SDGs・カーボンニュートラル
- ・広聴広報
- ・行政改革・DX（ほか）

【一部新規】 サーキュラー都市地域 プランディング事業

3,426万円

資源循環をテーマとした体験型・参加型のサーキュラー研修事業や、火力発電所跡地を活用した資源循環の拠点化に向けたサーキュラー都市プランディングプロジェクトに加えて、取組の効果を可視化し、戦略的に事業を進めるためのサーキュラー都市推進事業を新たに実施します。

予算概要：P25

事項名：企画開発費

《拡充》自治公民館等設置事業補助金事業

1,700万円

自治会活動の活性化を図るため、自治公民館等の用地取得、解体、新築、増改築等に要するこれまでの補助金に加え、指定避難所に指定された自治公民館を対象とした空調設備設置助成事業を、全ての自治公民館に対象を拡充し設置費用の一部を助成します。

予算概要：P26

事項名：自治会活動支援事業費

《拡充》防犯灯管理事業

1,732万円

安全・安心なまちづくりを進めるため、防犯灯を設置する自治会などに対し、防犯灯のLED化の推進を含め、設置に係る経費の一部を拡充して補助します。

また、市が直接管理する防犯灯の老朽化を確認するために、防犯灯の基礎や躯体などの設置状況調査を行います。

予算概要：P25

事項名：防犯灯管理費

【新規】東部エリア経済活性化事業

440万円

東部エリア（樋脇地域・入来地域・東郷地域・祁答院地域）の経済活性化について、これまでの取組を入来地域及び祁答院地域にも拡充し、東部エリア全域の活動の支援を強化します。

予算概要：P23

事項名：企画開発費



市民活動が活発になってひとが繋がるまちになるといいな

6 政策別の主な予算

2 市民安全・消防 安全・安心なまち

23事業 11億3,869万円

- ・市民窓口サービス
- ・課税・徴収
- ・環境
- ・防災・原子力安全
- ・交通安全・防犯
- ・消防
- ・消防団（ほか）

【新規】備蓄管理システム導入事業

42万円

災害時の備蓄品を適切かつ効率的に管理を行うため、数量や期限等の情報を一元的に把握できる体制を整備し、平時の管理負担軽減と災害時の迅速な物資提供を可能とする災害用備蓄管理システムを導入します。

予算概要：P36

事項名：災害予防応急対策費

【新規】防災啓発番組制作事業

316万円

平成18年豪雨から20年の節目となる令和8年度に、地域の防災力を一層向上させるため、防災啓発番組を作成し、放送を実施するとともに、出前講座や各種イベント等において活用します。

予算概要：P37

事項名：災害予防応急対策費

【新規】粗大ごみ資源化事業

6,248万円

粗大ごみに含まれる木質及びプラスチック等の資源化によるリサイクル率の向上と自立的な資源循環の実現に向けて、民間事業者等の有する知見やノウハウを活用した実証事業を行います。

予算概要：P40

事項名：一般廃棄物処理費

【新規】祁答院生態系保存資料施設 (資料館アクアアイム) 改修事業

1,268万円

祁答院生態系保存資料施設（資料館アクアアイム）について、令和11年4月のリニューアルオープンを目指し、改修工事における設計業務を実施します。

予算概要：P38

事項名：環境保全対策費



災害に負けないみんなが安心して暮らせるまちになるといいな

6 政策別の主な予算

3 保健福祉

健やかに暮らせるまち

100事業 458億5,660万円

- ・健康保健
- ・地域医療
- ・社会福祉・市民相談
- ・障害者福祉
- ・高齢・介護福祉
- ・生活保護
- ・子育て支援・保育ほか

【一部新規】母と子の健康診査事業

1億491万円

妊娠婦の経済的負担の軽減を図り、乳幼児の健康の保持増進や育児支援、虐待の早期発見を目的に、妊娠婦健康診査、乳幼児健康診査及び精密健康診査等を実施します。

さらに妊娠婦に対する遠方の分娩施設等への交通費の支援を新たに実施します。

予算概要：P68

事項名：母子保健事業費

【新規】乳児等支援給付事業

871万円

保育所等に通っていない0歳6か月から満3歳未満の子どもが、保護者の就労要件を問わず時間単位（10時間／月上限）で保育所等を利用した際の利用料を給付します。

予算概要：P64

事項名：保育所運営費

【新規】医療的ケア児保育支援事業

1,160万円

保育所等において医療的ケア児の受け入れを可能とするため、看護師等を配置し、医療的ケア児に対する体制を整備した費用の一部を支援します。

予算概要：P136

事項名：保育対策総合支援事業費

【新規】手話言語等電話通訳事業

(電話リレーサービス)

12万円

身体障害者手帳の交付を受けている聴覚や音声言語機能に障害がある人が、日本財団電話リレーサービスが提供する電話リレーサービス（手話、文字）にて24時間365日通訳オペレーターを介して電話で緊急通報等、やり取りができるサービスの通話料の負担を行います。

予算概要：P44

事項名：地域生活支援事業費



子育て世代、高齢の方、障害のある方もみんなが安心して
住み続けられるまちになるといいな

4 教育

次世代につなぐ教育のまち

39事業 22億7,520万円

- ・学校教育
- ・教育施設
- ・社会教育
- ・文化財

【新規】 小学校給食費無償化事業

3億926万円

小学校児童分の学校給食の食材費を支援し、学校給食費の抜本的な保護者の負担軽減（いわゆる給食無償化）を実施します。

予算概要：P133

事項名：給食センター管理費

【新規】 中央図書館移動図書館車購入事業

3,500万円

図書館サービスの充実と読書活動の推進を図るため、新たに移動図書館車を購入します。

予算概要：P144

事項名：図書館管理費

《拡充》 学びの多様化支援事業

1,520万円

学校へ登校できなくなった児童生徒に、仲間とのふれあいの機会を提供し、学習の補充や体験活動を通して、自立心や社会性・人との関わり等の能力を養い、学校へ復帰できるよう支援員を増員して指導・援助を行います。

予算概要：P137

事項名：学びの多様化支援事業

《拡充》 幼稚園一時預かり事業

1,199万円

市立幼稚園に在籍する満3歳以上の幼児で、教育時間の前後や長期休業日に加えて、これまで実施していなかった土曜日も一時的に預かり保育を実施します。

予算概要：P139

事項名：幼稚園扶助費



子どもたちが健やかで学校生活の多様性が尊重されるまちになるといいな

6 政策別の主な予算

5 産業・シティセールス

活力と賑わいを生み出すまち

120事業 42億1,225万円

- ・営農・畜産
- ・林業・漁業
- ・シティセールス
- ・地域経済・中小企業
- ・産業人材確保・移住定住
- ・観光物産
- ・文化・スポーツほか

【新規】川内港背後地整備調査事業

6,219万円

川内港背後地におけるデータセンターや物流施設等の立地検討を踏まえ、スピーディな事業展開を行う企業に対応するため、地理的優位性や用地の拡張性を活かした背後地整備に向けた手続き等を行います。

予算概要：P105

事項名：企業立地事業費

【一部新規・拡充】企業誘致事業

2,206万円

雇用機会の創出・拡充及び地域経済の活性化を図るため、企業誘致を推進するとともに、市内企業の事業拡大を支援するため、新規助成事業の創設や既存助成事業の要件拡充を行います。

予算概要：P103

事項名：企業立地事業費

【新規】立地企業支援事業

1,000万円

従業員の満足度向上及び人材の定着・確保を図るため、既存企業のオフィス環境や社宅・社員寮の整備に係る経費の一部を助成します。

予算概要：P104

事項名：企業立地事業費

【新規】川内・甑島水産物流通拡大整備事業

1,875万円

市本土及び甑島で漁獲された水産物を、鮮度の高い状態で安定的に流通させることにより、漁業者の稼ぐ力の向上及び持続可能な水産業の振興を図るため、漁業協同組合が実施する運搬車両等の整備に係る経費の一部を助成します。

予算概要：P92

事項名：水産振興費



人やものの交流が増えて活気にあふれたまちになるといいな

6 政策別の主な予算

6 建設・水道

社会を支える快適なまち

55事業 46億7,653万円

- ・道路河川港湾
- ・都市計画
- ・土地区画整理
- ・公園緑地
- ・景観・公共サイン
- ・住宅・建築指導・空家
- ・上水道・下水道 ほか

【新規】屋内遊具整備事業

1,800万円

近年の猛暑や降雨等により外遊びが制限される状況に対応し、天候に左右されず、子どもたちが安全・安心に遊び、健やかに成長できる環境を整備するため、公共施設の一部に、安全面・衛生面に配慮した屋内遊具を設置するとともに、民間施設が行う屋内遊具整備に係る経費の一部を助成します。

予算概要：P124

事項名：公園管理事業費

《拡充》屋外遊具整備事業

2,000万円

子どもたちが安全・安心に遊べる環境を確保するため、子育て世代の多様なニーズに対応した、快適で利用しやすい遊具を公園に整備します。

予算概要：P124

事項名：公園管理事業費

《拡充》危険廃屋等解体撤去促進事業

2,511万円

適正な管理が行われていない危険廃屋等が、防災・衛生・景観等の面から地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることから、解体撤去を行う者に対する補助上限額を引き上げ、新たに、緊急的な危険度が高い住宅に対し、補助上限額をさらに加算することで速やかな解体撤去を促進します。

予算概要：P130

事項名：空家政策費

【新規】水辺×地域資源を核にした 個性ある地域づくり事業

1,000万円

地域特有の資源を活かした個性ある地域づくりや交流の促進、観光の稼ぐ力の向上を図るために、入来麓地区において、河川空間の水辺と地区の伝統的な街並み・景観・行事・文化等を融合させた取組を実施します。

予算概要：P116

事項名：河川管理費



市民の生活において生活基盤の維持は欠かせないね

7 ゼロ予算事業（主なもの）



ゼロ予算事業とは、特別な予算を伴うことなく職員一人ひとりが創意工夫や新しい発想のもと知識・資産・情報等を活用し、政策課題の解決や市民サービス向上を目指す取組のことだよ

【新規】特定技能外国人雇用事業者連携事業

特定技能外国人が本市で快適に働き、暮らすために、市の取組や支援内容を周知する説明会等を通じて雇用する事業者と連携を行います。

【新規】「相続贈与ガイドブック」の配布

空き家の早期活用の啓発のため、業者からご寄付いただく「相続贈与ガイドブック」を、空き家の所有者等へ配布します。

（継続）広報紙アプリ活用事業

スマートフォンアプリを活用し、広報薩摩川内や薩摩川内市議会だよりのP D F電子版を配信します。

（継続）自治会に関するオンライン問合せ事業

昼間勤務していて市役所に来ることや電話をすることが困難な自治会長の負担軽減を図るため、自治会に関する問合せを24時間受付可能とするフォームを運用します。

（継続）災害情報発信事業

防災対策の強化を図るために、災害に係る情報発信等に関する協定等を締結した企業と連携・協力し、災害時の防災情報をアプリ等で発信します。

（継続）ふるさと空き家見守りサービス

本市に空き家を所有・管理している遠方の方が、ふるさと納税を活用して空き家の現状を把握できるよう、建築士が空き家の状態を確認し、写真等により所有者へ報告します。

（継続）「すてきびと」事業

地域に埋もれている人材を発掘し、人材養成を行うとともに、生涯学習に対する認識を高め、学習活動を支援することで、地域における学びの充実を図ります。

※ ゼロ予算事業（全体分）は、予算概要のP 149～P 151に掲載

8 会計別の予算規模

(単位:億円、%)

区分	事業内容	R8予算額	前年度比 (増減額)	前年度比 (増減率)
① 一般会計		599.1	7.9	1.3%
② 特別会計 計		267.6	7.7	2.9%
温泉給湯事業	温泉の供給や源泉・温泉管の整備、維持管理	0.4	▲ 0.1	▲13.5%
浄化槽事業※	公設の浄化槽の維持管理	0.0	▲ 0.1	▲100.0%
天辰第一地区土地区画整理事業	天辰第一地区での土地区画整理事業の実施	0.8	▲ 0.7	▲46.0%
天辰第二地区土地区画整理事業	天辰第二地区での土地区画整理事業の実施	6.4	0.7	11.7%
入来温泉場地区土地区画整理事業	入来温泉場地区での土地区画整理事業の実施	0.5	▲ 0.2	▲24.7%
国民健康保険事業	国民健康保険に加入している方への医療費給付	104.4	1.0	1.0%
国民健康保険直営診療施設勘定	国民健康保険直営診療所の運営、維持管理・施設整備	23.5	4.7	25.2%
介護保険事業	要介護・要支援認定を受けた方への保険給付	112.2	▲ 0.7	▲0.6%
後期高齢者医療事業	75歳以上の方への医療費給付	19.4	3.1	19.0%
合 計 ①+②		866.7	15.6	1.8%

※ 浄化槽事業特別会計については、令和8年度から公営企業会計(下水道事業)へ移行



ここがポイント

- 一般会計は、定額減税補足給付金事業の終了（△5.0億円）等による減要因がある一方で、人件費（+4.5億円）、障害者（児）自立支援事業（+3.4億円）、総合運動公園施設修繕事業（+3.1億円）、小学校給食費無償化事業（+3.1億円）などの増要因により、総額としては増加しています。
- 国民健康保険直営診療施設勘定は、甑島診療所再編方針に基づく（仮称）上甑島診療所整備事業（+3.7億円）や診療所運営費（+1.0億円）により増加しています。

(単位:億円、%)

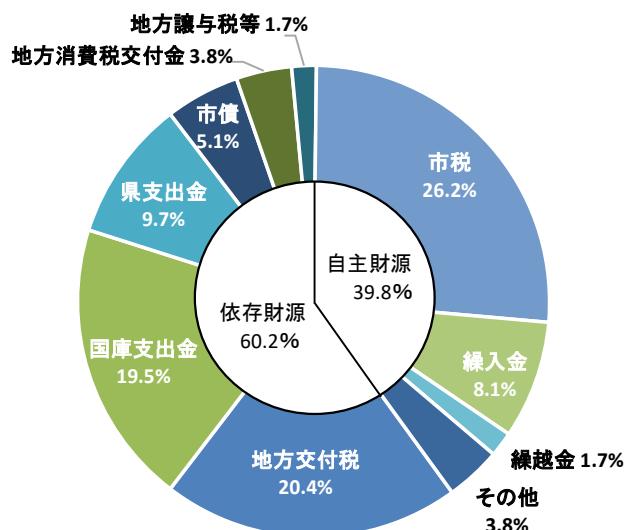
区分	事業内容	R8予算額	前年度比 (増減額)	前年度比 (増減率)
公営企業会計		59.1	▲ 0.3	▲0.5%
水道事業	水道水の供給や水源・水道管の整備、維持管理	29.7	▲ 0.9	▲3.0%
簡易水道事業	水道水の供給や水源・水道管の整備、維持管理(計画給水人口5,000人以下の水道事業)	5.1	▲ 0.4	▲7.8%
下水道事業	汚水の処理や污水管・雨水渠の整備、維持管理	24.3	1.0	4.5%

※ 企業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額

9 歳入予算内訳（一般会計）

(単位:億円、%)

項目	歳入内容	R8予算額	前年度比 (増減額)	前年度比 (増減率)
① 自主財源	市が自主的に調達できる収入	238.7	16.8	7.6%
市税	納めていただく税金	156.7	1.2	0.8%
繰入金	基金(貯金)の取り崩し	48.4	16.5	51.9%
繰越金	前年度からの繰り越し	10.0	0.0	0.0%
その他	使用料や財産収入など	23.6	▲ 0.9	▲3.8%
② 依存財源	国や県から交付されたり、割当てられる財源や市債(借金)	360.4	▲ 8.9	▲2.4%
譲与税・交付金 交付税等	一定の行政サービスを行えるよう、国から交付されるお金など	154.8	3.0	2.0%
国・県支出金	国・県から特定の事業のために交付される補助金など	175.0	▲ 2.3	▲1.3%
市債	銀行などからの借入れ(借金)	30.6	▲ 9.6	▲23.9%
合 計 ①+②		599.1	7.9	1.3%



約 40 %が自主財源

自主財源が多いほど、
独自の事業をより多く
行うことができるよ



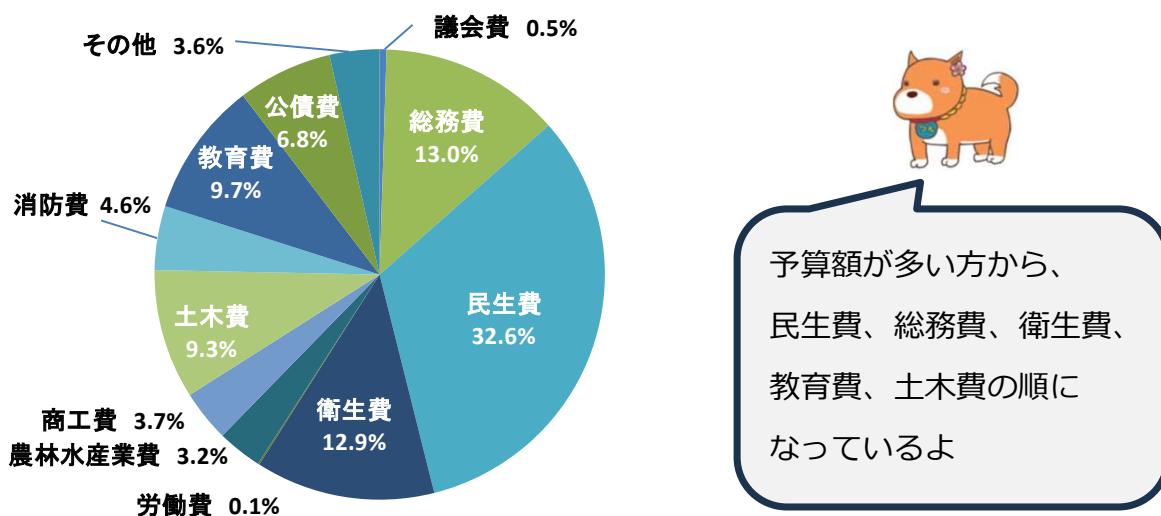
ここがポイント

- ・ 繰入金は、財政調整基金繰入金や未来のまち創生整備基金繰入金等の増により +16.5億円(+51.9%)となっています。
- ・ 交付金は、地方消費税交付金や株式等譲渡所得割交付金等の増により +3.0億円(+2.0%)となっています。
- ・ 市債は、庁舎等整備事業債(△3.9億円)、流域治水対策事業債(△2.2億円)等の減により△9.6億円(△23.9%)となっています。

10 歳出予算の目的別内訳（一般会計）

科 目	歳出内容(目的別)	R8予算額	前年度比 (増減額)	前年度比 (増減率)
議会費	議員の報酬や議会運営などに使う経費	3.1	▲ 0.1	▲2.0%
総務費	庁舎管理、財政管理、市税の賦課徴収など、市役所の全般的な仕事に使う経費	78.0	▲ 3.3	▲4.0%
民生費	子ども、高齢者などの支援や、生活保護などに使う経費	195.4	▲ 4.8	▲2.4%
衛生費	医療やごみなどの一般廃棄物収集処理などに使う経費	77.6	7.7	11.0%
労働費	労働者の福祉向上や就労支援などに使う経費	0.4	0.1	12.7%
農林水産業費	農林漁業の振興、技術の普及などに使う経費	19.1	▲ 2.8	▲12.7%
商工費	商工業の振興、中小企業の育成、企業誘致などに使う経費	21.9	1.1	5.2%
土木費	道路、河川、住宅、公園など、公共施設の整備や維持管理に使う経費	55.9	▲ 1.1	▲2.0%
消防費	火災、風水害、地震等の災害から、市民を守るために使う経費	27.3	▲ 1.6	▲5.6%
教育費	学校の管理、生涯学習、文化財保護など、教育行政に使う経費	58.1	10.9	23.1%
公債費	事業を行うために、国や金融機関から借り入れた市債(借金)の返済金	41.0	1.1	2.6%
その他	緊急に支出を必要とする場合に備えて用意しているお金など	21.3	0.7	3.5%
合 計		599.1	7.9	1.3%

※単位表示未満の増減額は「0.0」と表示



※単位表示未満の構成比率は「0.0%」と表示



ここがポイント

- ・ 総務費は、未来のまち創生整備基金積立金や本庁舎受変電設備改修事業等の減により、△3.3億円(△4.0%)となっています。
- ・ 民生費は、定額減税補足給付金事業や児童手当支給事業等の減により、△4.8億円(△2.4%)となっています。
- ・ 卫生費は、(仮称)上甑島診療所整備事業や後期高齢者医療事業等の増により、+7.7億円(+11.0%)となっています。
- ・ 教育費は、総合運動公園施設修繕事業や小学校給食費無償化事業等の増により、+10.9億円(+23.1%)となっています。

市民一人当たりでは・・・



薩摩川内市の一般会計予算 599億1千万円を
市民一人当たりに換算してみたよ

市民一人当たりの予算額 672,119円

薩摩川内市の人口(令和8年1月1日現在) 89,136人

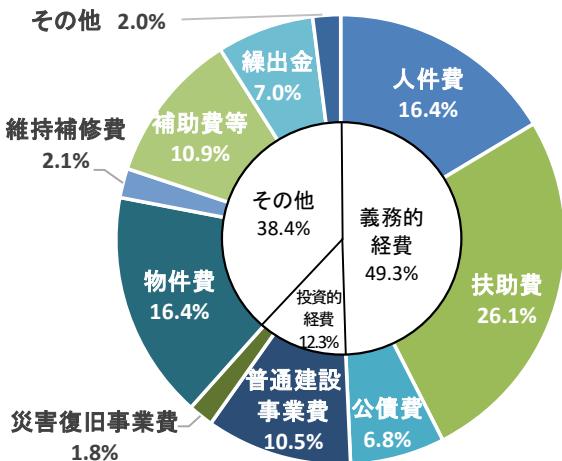
項目	内 容	一人当たり	割合
民生費	福祉・子育てなど	219,111円	32.6%
衛生費	健康づくり・衛生管理など	86,703円	12.9%
総務費	庁舎管理など	87,376円	13.0%
土木費	道路や河川整備など	62,507円	9.3%
公債費	借金の返済	45,704円	6.8%
教育費	学校教育など	65,196円	9.7%
消防費	消防・救急活動など	30,917円	4.6%
農林水産業費	農林水産業振興など	21,508円	3.2%
商工費	商工・観光振興など	24,868円	3.7%
議会費	議会運営など	3,361円	0.5%
労働費	雇用促進・失業対策など	672円	0.1%
その他	災害復旧・予備費など	24,196円	3.6%
合 計		672,119円	100.0%

1.1 歳出予算の性質別内訳（一般会計）

(単位: 億円、%)

性質区分	歳出内容(性質別)	R8予算額	前年度比 (増減額)	前年度比 (増減率)
① 義務的経費	毎年必ず支出しなければならない経費	295.5	1.0	0.3%
人件費	職員の給料などに使う経費	98.0	4.5	4.8%
扶助費	児童福祉費、障害者支援費などの、福祉や医療に使う経費	156.5	▲ 4.6	▲2.9%
公債費	事業を行うために国や金融機関から借り入れた市債(借金)の返済金	41.0	1.1	2.6%
② 投資的経費	支出効果が資本形成に向けられ、施設等、将来に形が残るものに対する経費	73.9	▲ 6.6	▲8.2%
普通建設事業費	道路、学校などの建設や大規模改修など、都市基盤の整備にかかる費用	63.0	▲ 7.3	▲10.3%
災害復旧事業費	大雨、暴風、地震などの災害により、被災した施設の復旧に係る経費	10.9	0.7	6.6%
③ その他の経費		229.7	13.5	6.2%
物件費	光熱水費、消耗品費、通信運搬費、委託料など	98.1	6.1	6.6%
維持補修費	施設の修繕等に使う経費	12.4	0.6	5.2%
補助費等	各種団体に対する助成金や一部事務組合への負担金など	65.1	5.8	9.7%
繰出金	特別会計の収入を補うための経費	42.0	2.0	5.1%
その他	基金(貯金)への積立金や各水道事業に対する出資金など	12.1	▲ 1.0	▲7.6%
合 計 ①+②+③		599.1	7.9	1.3%

※ 単位表示未満の増減額は、「0.0」と表示



約 50 %が義務的経費

必ず支出しなければならない
義務的経費が約半分を占めて
いるよ



ここがポイント

- ・ 義務的経費は、人件費、公債費の増により、+1.0億円(+0.3%)となっています。
- ・ 投資的経費は、普通建設事業費の減により、△6.6億円(△8.2%)となっています。
- ・ その他の経費は、粗大ごみ資源化事業等の物件費や小学校給食費無償化事業等の補助費等の増により、+13.5億円(+6.2%)となっています。

予算を家計簿に例えると・・・



薩摩川内市の一般会計予算 599億1千万円を、1ヶ月当たり
40万円（年収480万円）の家計に例えてみたよ

収入

家計簿の区分	実際の歳入予算の区分	家計の収入	割合
給料	市税	105,000円	26.3%
パート収入	負担金・使用料・諸収入・財産収入・寄附金など	16,000円	4.0%
親・兄弟からの援助	地方交付税・国県支出金・各種交付金など	220,000円	55.0%
預金の引き出し	繰入金	32,000円	8.0%
ローン	市債	20,000円	5.0%
繰越金	繰越金	7,000円	1.7%
合 計		400,000円	100.0%

支出

家計簿の区分	実際の歳出予算の区分	家計の支出	割合
食費・光熱水費・日用品費などの日常生活費	人件費・物件費	131,000円	32.8%
ローン返済	公債費	27,000円	6.7%
医療費・保育料	扶助費	105,000円	26.3%
子どもへ仕送り	繰出金	28,000円	7.0%
電化製品購入・家の増改築修繕	普通建設事業費・災害復旧事業費	49,000円	12.2%
保険料・自治会費など	補助費等	44,000円	11.0%
電化製品の修繕	維持補修費	8,000円	2.0%
預金	積立金など	8,000円	2.0%
合 計		400,000円	100.0%

12 参考資料（前年度との比較）

(1) 人件費、職員・会計年度任用職員数

■一般会計当初予算額(性質別)

(単位:億円)

区分	R7	R8	増減
人件費	93.5	98	4.5

■全会計の職員数と月額会計年度任用職員数

(単位:人)

区分	R7	R8	増減
職員数(再任用職員含む)十月額会計年度任用職員数	1,488	1,508	20



人件費は、令和7年度の人事院勧告による給与等や、会計年度任用職員の期末勤勉手当などが増加しています
職員数は、職員が増加しています

(2) 普通建設事業費、維持補修費

■一般会計当初予算額

(単位:億円、%)

区分	R7	R8	増減
普通建設事業費	70.3 (85.7)	63.0 (83.6)	▲ 7.3
維持補修費	11.7 (14.3)	12.4 (16.4)	0.7
合計	82.0	75.4	▲ 6.6

※ 表の下段括弧内は、合計額に対する各経費の割合である。



普通建設事業費は、本庁舎受変電設備改修事業、流域治水対策事業などが減少しています

(3) 市債残高

■年度末市債残高

(単位:億円)

区分	R7 (3月補正後)	R8	増減
一般会計	344.4	336.7	▲ 7.7
全会計	477.8	474.4	▲ 3.4

市民一人当たりでは?



市債残高（借金）は、
償還（返済）が進んで、
減少しています

(単位:円)

区分	R7 (3月補正後)	R8	増減
一般会計	380,405	377,737	▲ 2,668
全会計	527,752	532,220	4,468

(4) 基金残高

■年度末基金残高(一般会計)

(単位:億円)

区分	R7 (3月補正後)	R8	増減
財政調整基金	80.2	59.7	▲ 20.5
減債基金	16.9	15.0	▲ 1.9
その他基金	71.9	55.0	▲ 16.9
基金合計	169.0	129.7	▲ 39.3

市民一人当たりでは?



基金（貯金）残高は、
必要な事業を実施するため
基金を取り崩したため、
減少しています

(単位:円)

区分	R7 (3月補正後)	R8	増減
基金合計	186,668	145,508	▲ 41,160

【参考】各年の1月1日現在の住民基本台帳人口

(単位:人)

区分	R7	R8	増減
住民基本台帳人口	90,535	89,136	▲ 1,399